

二中コミュニティ・スクールだより

～市川市立第二中学校学校運営協議会～
「夢・命・絆」

令和5年度第3号
(通算第18号)
会長 小林 俊之
(文責 野手 裕之)

「令和5年度第3回学校運営協議会」報告

次第

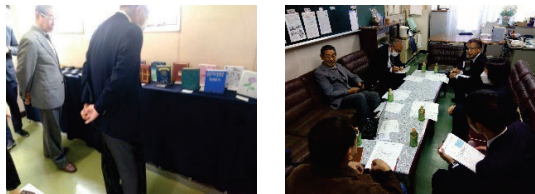
1. 授業参観
2. あいさつ
3. 報告及び意見交換
4. 給食試食
5. その他
6. 校内研修

令和5年11月11日(土)に、令和5年度第3回学校運営協議会が、委員7名の出席のもとで開催されました。

参観後に意見交換(感想など)では中学生を思う意見がたくさんあり、その後、給食を試食しました。午後は、NPO法人「学校の話しよう」のご協力のもとで行われた校内研修「対話を通じた学校づくり」に参加しました。

◎授業参観&意見交換

3時間目の授業を参観した後の意見交換では、委員から感想などが述べられました。授業スタイルに対して多くの意見がありましたが、好意的なものがほとんどでした。



◎給食試食

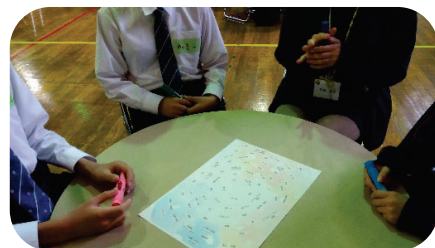
委員からは、給食に対して、おいしいという声がある一方、食材の高騰などに対する心配の声がありました。このような給食が続くようにして欲しいところです。



◎校内研修

13時45分～16時30分に、体育館で、生徒55名、教員30名、保護者3名、学校運営協議会委員5名(教員除く)が、19のグループに分かれて、二中をどんな学校にしたいか(どんなことを大事にする学校?やどんな雰囲気の学校?など)を話し合いました。

生徒たちの意見を聴くことができ(二中のことを考えていて)、また、生徒から楽しかったという声があり、とても有意義な時間だったと思います。みんなでもっともったいい二中にしていきたいですね。



～市川市PTA連絡協議会関連の報告～

★市川市PTA連絡協議会第2回会長会について



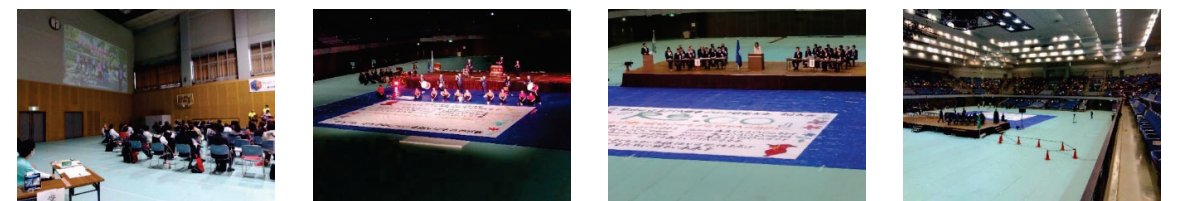
10月14日(土)、勤労福祉会館で第2回会長会が開催されました。

ボッチャ大会の開催に向けて、参加した方にボッチャの体験をしてもらいました。初めての方も多かったものの、1ゲームずつの体験でしたが、その楽しさを感じてもらえたようでした。

★第55回日本PTA関東ブロック研究大会(ちば大会)について

10月28日(土)～29日(日)に、「第55回日本PTA関東ブロック研究大会(ちば大会)」が開催されました。今回のスローガンは「Re:〇〇 ～ちば発 明日につながるPTAのカタチ」でした。一日目は7会場に分科会が開催され、二日目は千葉ポートアリーナで全体会が開催されました。

全体会では、開会式前に、八千代高校の鼓組と書道部による和太鼓と書道のパフォーマンスがあり目頭が熱くなりました。開会式では、千葉県教育委員会教育長のあいさつなどに続いて、大会宣言が承認されました。その後、放送作家の鈴木おさむ氏による基調講演があり、その中で、「その子にあった成長速度が大切であることに気づいて、子どもと接する際の心が穏やかになった。」といった点は感銘を受けました。



★市川市PTA連絡協議会研究大会について

11月7日(火)に、グリーンスタジアムで、市川市PTA連絡協議会の研究大会が行われました。

午前の部では、「市P連研修部会による研究発表」として、各PTAからのアンケート結果を紹介するとともに、PTAの課題などについての解説「教えて!NODEくん!!」やパネルディスカッションが行われました。午後の部では、「ブロックを越えた討議」として、1グループ4名程度(保護者2～3名、教員2名)に分かれて、15グループでの意見交換が行われ、小倉教育次長も熱心に耳を傾けてくださいました。

なお、研究大会の様子を動画で公開する予定です。その際には、「P連だより」と「二中コミスクだより」でご案内する予定です。



「教えて!NODEくん!!」で使用された説明資料(PTAの子どもたちへの効果、入会届の必要性と注意点、PTA会費の使い方など)は、左記QRコードからご覧いただけます。



二中フェスティバル

9月28日(木)に、「愛～〇〇をばらまけ～」をテーマに、「二中フェスティバル」が開催されました。

各ブースでもダンスや劇などの発表でも、生徒も先生もとても楽しそうに過ごしているのを見ることができてとても嬉しかったです。

二中をもっとよくしていきたいという想いで一生懸命に取り組む中学生と、中学生のそのような想いを受けとめ、また、中学生を信頼し任せる先生たちだからこそ、このような素敵な行事になったのではないかと感じました。

ところで、日本教育学会の会長などを歴任した藤田英典氏は、「学校再生の、おそらくもっとも重要な要件は、〔省略〕教師と生徒はもちろん、親や地域の人びとを含めて、その学校の構成員が自分たちの学校を『よい学校』としてつくっていくということであろう。」¹と述べています。

二中が、これからも「よい学校」であり続けるために、生徒ともに、教職員、保護者、そして、地域住民が、そのような想いで連携したり協働したりすることが不可欠であると、改めて感じました。引き続き、よろしくお願いいたします。

《各ブースの様子》



みんなで(の)二中愛を育もう

¹ 藤田英典著「教育改革－共生時代の学校づくり－」岩波新書、1997年。

《発表会の様子》



合唱祭

10月13日(金)に合唱祭が行われました。

私は2年生の発表までしか鑑賞できませんでしたが、素敵な歌声に感謝です。また、中学生の聞く態度もさすがと思わせるものでした。



～中央教育審議会答申「次期教育振興基本計画について」の紹介～

この答申(令和5年3月8日)では、総括的な基本方針として、「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」の2つが示されました。

前者との関係で、Society5.0で活躍するための資質・能力(主体性、リーダーシップ、課題設定・解決能力など)を備えた人材の育成などを挙げ、また、後者との関係で、個人のウェルビーイングを支えるため、学力の向上に加えて、社会情動的スキル(非認知能力)を育成することも重視するなどを挙げています。詳しくは次号で取り上げる予定です。



文科省の当該答申のページへのQRコードです。